

九重山の火山活動解説資料（平成 22 年 12 月）

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 12 月の活動概況

・噴煙など表面現象の状況（図 2）

噴煙活動は低調で、噴煙の高さは概ね 50m（最高高度は 200m）で経過しました。

・地震や微動の発生状況（図 2、図 4）

火山性地震の月回数は 10 回（11 月：4 回）と少ない状態で経過しました。震源は星生山付近のごく浅いところに求まり、これまでと比べて変化はありませんでした。

火山性微動は観測されませんでした（11 月：なし）。

・地殻変動の状況（図 1、図 3）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

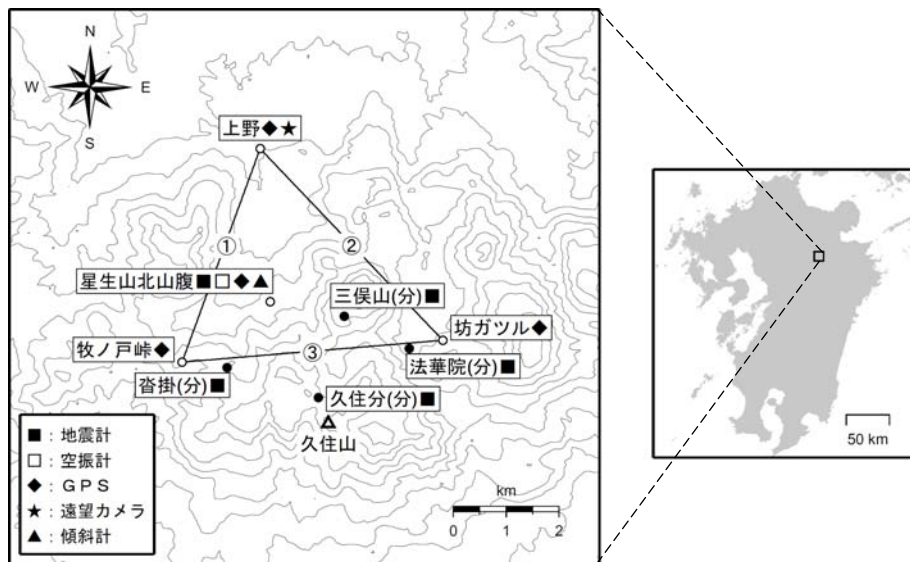


図 1 九重山 観測点配置図

小さな白丸は気象庁、小さな黒丸は大分県の観測点位置を示しています。

この火山活動解説資料は福岡管区気象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 23 年 1 月分）は平成 23 年 2 月 8 日に発表する予定です。

※この資料は気象庁のほか、独立行政法人防災科学技術研究所、大分県のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。

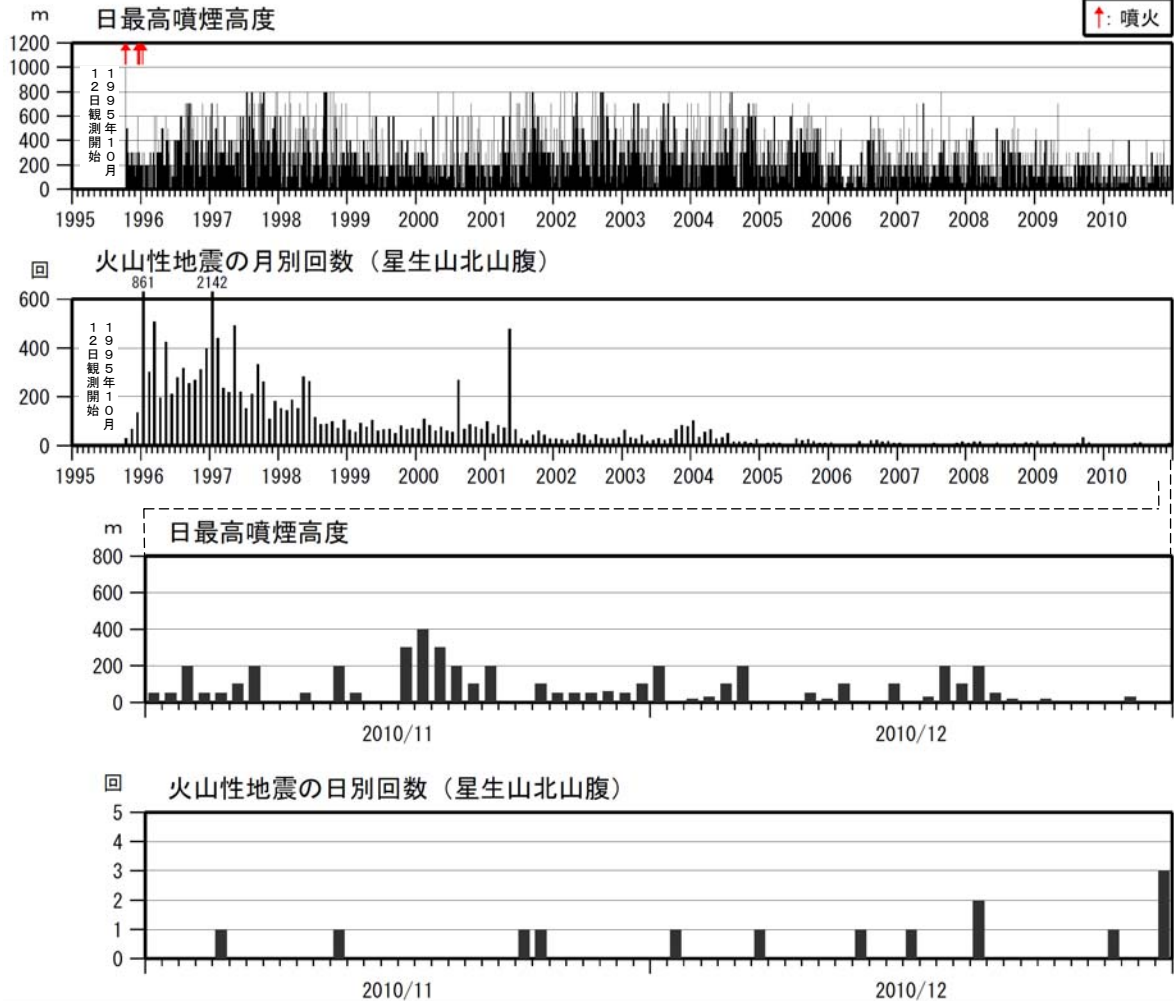


図 2 九重山 火山活動経過図（1995 年 10 月～2010 年 12 月）

<12 月の状況>

- ・噴煙の高さは概ね 50m（最高高度は 200m）で経過しました。
- ・火山性地震の月回数は 10 回（11 月：4 回）と少ない状態で経過しました。

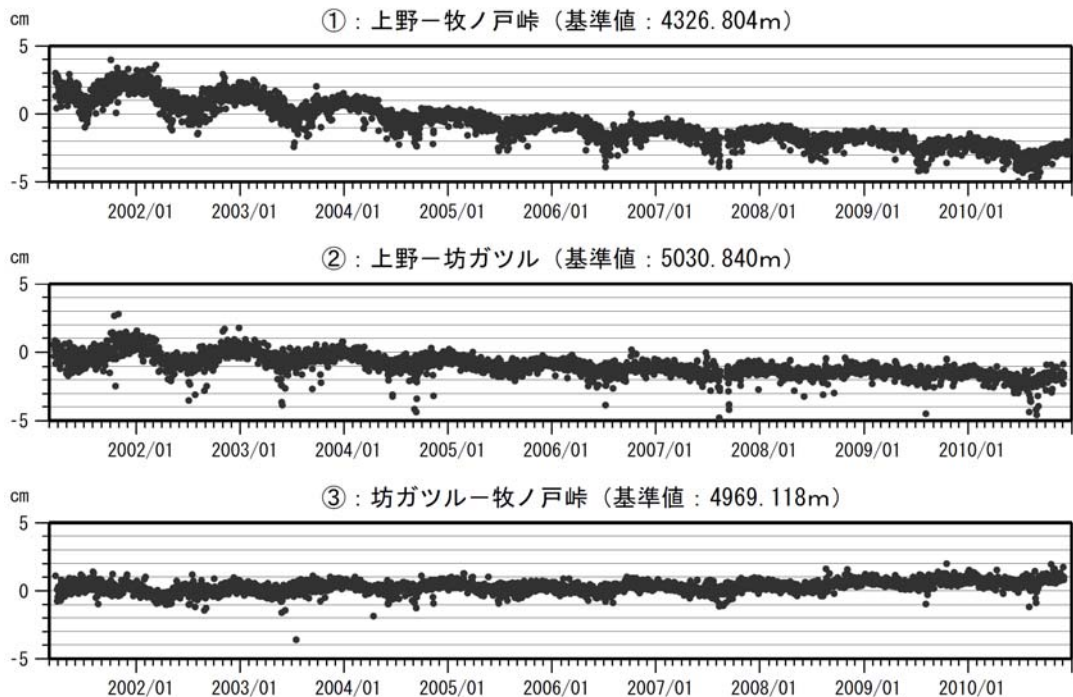


図 3 九重山 GPS 連続観測による基線長変化（2001 年 3 月～2010 年 12 月）

①、②の基線に長期的な縮みの傾向がみられていましたが、2008 年以降鈍化しています。
この基線は図 1 の①～③に対応しています。

*坊ガツル観測点の 12 月分データは未回収のため、後日回収し資料に掲載します。

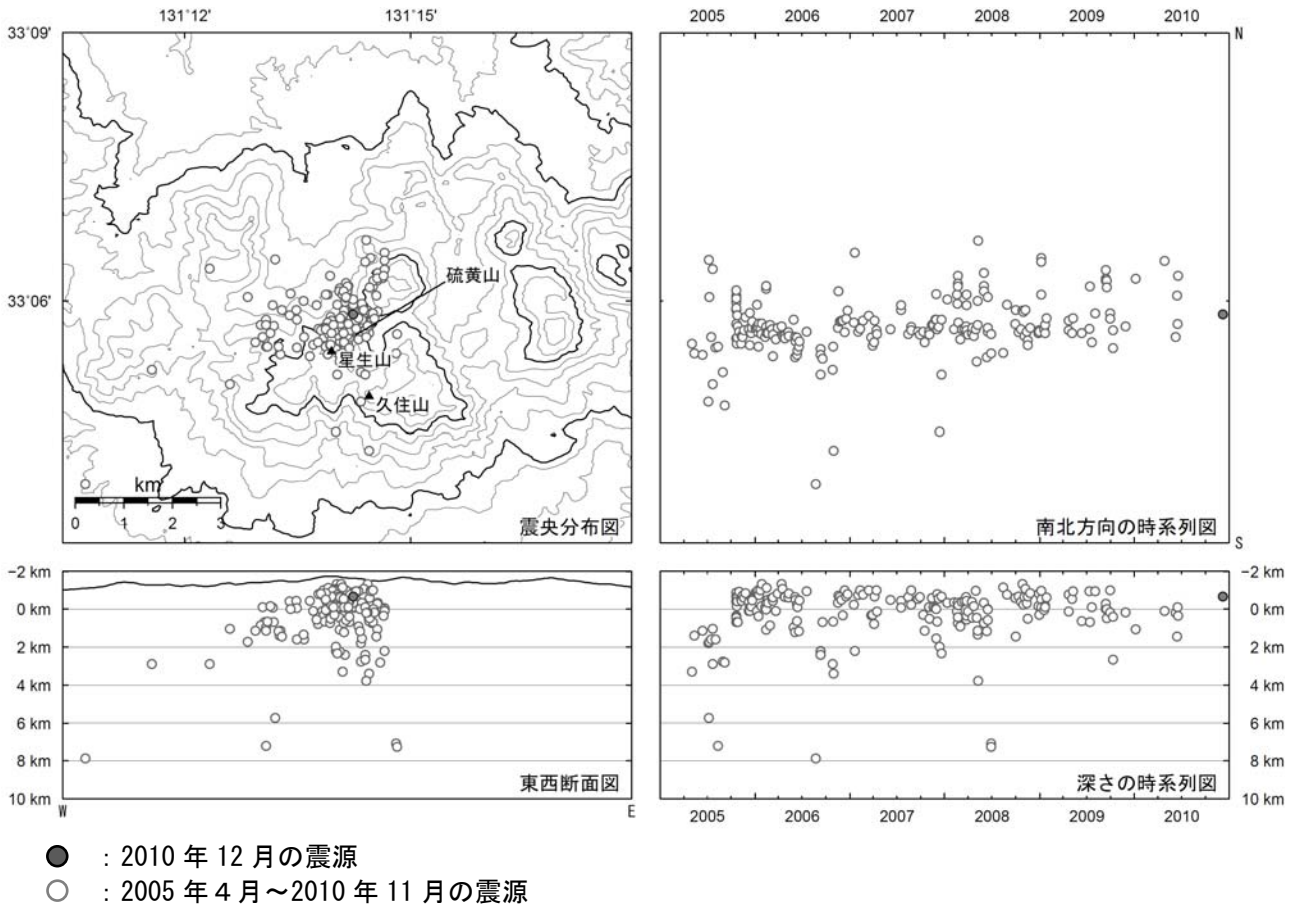


図 4※ 九重山 震源分布図（2005 年 4 月～2010 年 12 月）

<12 月の状況>

火山性地震の震源は星生山付近のごく浅いところに求まり、これまでと比べて変化はありませんでした。